

2018年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月30日

上場会社名 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 4927 URL <https://www.po-holdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 郷史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 藤井 彰 (TEL) 03-3563-5517  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年12月期第3四半期の連結業績(2018年1月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第3四半期	184,807	3.9	32,335	5.9	32,189	4.5	22,393	6.6
2017年12月期第3四半期	177,846	11.7	30,546	66.8	30,791	76.4	21,014	70.9

(注) 包括利益 2018年12月期第3四半期 21,511百万円(△1.3%) 2017年12月期第3四半期 21,804百万円(165.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第3四半期	101.25	101.12
2017年12月期第3四半期	95.01	94.89

(注) 当社は、2017年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年12月期第3四半期	246,476	202,667	82.1	914.55
2017年12月期	252,567	198,845	78.6	897.26

(参考) 自己資本 2018年12月期第3四半期 202,278百万円 2017年12月期 198,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期	—	25.00	—	45.00	70.00
2018年12月期	—	35.00	—		
2018年12月期(予想)				45.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年12月期の連結業績予想(2018年1月1日~2018年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	253,000	3.5	41,500	6.7	41,500	5.7	28,000	3.2	126.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年12月期3Q	229,136,156株	2017年12月期	229,136,156株
② 期末自己株式数	2018年12月期3Q	7,956,853株	2017年12月期	7,957,837株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2018年12月期3Q	221,178,511株	2017年12月期3Q	221,177,949株

(注) 当社は、2017年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年1月1日～2018年9月30日)におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調が続きました。

国内化粧品市場においては、訪日観光客のインバウンド消費の伸長が落ち着きつつあるものの、堅調に推移しました。なお、インバウンド消費を除く市場規模は微減と推察されます。海外化粧品市場においては、中国を中心に、アジアでは堅調に成長し、緩やかな拡大傾向が続いております。

このような市場環境のもと、2017年からスタートした4ヶ年中期経営計画(2017年から2020年)に基づき、国内のさらなる収益性向上と海外事業での黒字化、次世代の成長ブランド創出を達成すべく、取り組みを進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、基幹ブランドであるPOLAブランドに加え、育成ブランドであるTHREEブランド及びDECENCIAブランドの好調により、前年同期比3.9%増の184,807百万円となりました。営業利益は売上高増による売上総利益増加により、前年同期比5.9%増の32,335百万円、経常利益は前年同期比4.5%増の32,189百万円となりました。以上の結果により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比6.6%増の22,393百万円となりました。

## 〔業績の概要〕

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	177,846	184,807	6,961	3.9
営業利益	30,546	32,335	1,789	5.9
経常利益	30,791	32,189	1,398	4.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21,014	22,393	1,379	6.6

## 〔セグメント別の業績〕

## 売上高(外部顧客への売上高)

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
ビューティケア事業	165,268	172,024	6,755	4.1
不動産事業	2,020	2,031	11	0.6
その他	10,557	10,752	194	1.8
合計	177,846	184,807	6,961	3.9

## セグメント利益又は損失(△)(営業利益又は損失(△))

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
ビューティケア事業	29,689	31,113	1,423	4.8
不動産事業	913	833	△80	△8.8
その他	△126	798	925	—
セグメント利益の調整額 (注)	70	△408	△479	—
合計	30,546	32,335	1,789	5.9

(注) セグメント利益の調整額とは、グループの内部取引に伴う利益及びセグメントに含まれない経費などを連結時に消去・加算した金額であります。なお、セグメント利益の調整額の詳細につきましては、P.9～10「1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報(注2)」をご覧ください。

## (ビューティケア事業)

ビューティケア事業は、基幹ブランドとして「POLA」「ORBIS」を、海外ブランドとして「Jurlique」「H2O PLUS」を、育成ブランドとして「THREE」「DECENCIA」に加え、新たに「Amplitude」「ITRIM」「FIVEISM×THREE」を展開しております。

POLAブランドでは、ブランド認知向上を足がかりにさらなる事業基盤強化、ブランド価値向上を進めるべく、高機能商品の投入及び育成、戦略的な店舗網の拡大に取り組んでおります。国内市場においては、日本で初めて承認されたシワを改善する薬用化粧品「リンクルショットメディカルセラム」を2018年1月に価格改定しました。顧客総数の増加と、その他商品とのクロスセルに繋がっております。また、肌細胞は日々の体調や環境の変化を瞬時に感じ取っていること、変化に対する肌細胞の反応は世代によって個性があるという研究成果を応用し、2018年9月に「Red B.A」を発売開始しました。価値観・生き方が多様化する現代社会の女性のエイジングケアへのニーズに、今後も多面的に取り組んでまいります。海外市場においては、「リンクルショットメディカルセラム」を2018年6月に香港、台湾にて発売開始、中華圏での更なるブランド価値拡大により、全体として好調に売上成長しております。以上の結果、POLAブランドは前年同期を上回る売上高となりました。

ORBISブランドでは、高収益事業へと再成長を遂げるため、ブランド差別性の創出や一貫した市場発信による、存在感の向上に取り組んでおります。国内市場においては、引き続き主力商品である「ORBIS=U」シリーズを中心としたプロモーションを強化したことにより、新規顧客の売上は増加したものの、全体の売上を押し上げるには至らず、前年同期を下回る売上高となりました。海外市場においては、中国市場では成長トレンドを維持しております。以上の結果、ORBISブランドは前年同期を下回る売上高となりました。一方で、費用効率が向上したことにより、前年同期を上回る営業利益となりました。

海外ブランドについては、Jurliqueブランドは豪州とアジア、H2O PLUSブランドは本拠地である米国での事業成長を目指した取り組みを行ってまいりました。Jurliqueブランドは、長期的な成長を支えるためのブランドビジネスに根差した販売モデルへの転換を目指したものの、中国市場や豪州市場での売上が伸び悩み、前年同期を下回る売上高となりました。H2O PLUSブランドは、販売チャネルの適正化を目的とし、主要リテーラーから撤退した影響により、前年同期を下回る売上高となりました。一方で、販管費を抑制したことにより、前年同期で損失削減となりました。

育成ブランドについては、THREEブランドやDECENCIAブランドの好調により、前年同期を上回る売上高となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は172,024百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は31,113百万円（前年同期比4.8%増）となりました。

## (不動産事業)

不動産事業では、都市部のオフィスビル賃貸を中心に、魅力的なオフィス環境の整備による賃料の維持向上と空室率の低下に取り組むとともに、子育て支援に特化した賃貸マンション事業も展開しております。当第3四半期連結累計期間は、市況や他社状況を勘案した入居条件の見直しや、ビルの価値向上に向けた取り組みを行った結果、前年同期を上回る売上高となりました。一方で、オフィス環境整備の費用が一時的に増加したことにより、前年同期を下回る営業利益となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は2,031百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は833百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

## (その他)

その他に含まれている事業は、医薬品事業及びビルメンテナンス事業であります。

医薬品事業では、化粧品や医薬部外品研究で培ってきた当社グループの研究成果を活用し、新規医薬品の開発・製造・販売及び医薬品の製造受託を行っております。当第3四半期連結累計期間は、重点領域である皮膚科領域にリソースを集中した継続的な活動に加え、尋常性ざ瘡治療配合剤「デュアック®配合ゲル」の販売や、2016年に発売した爪白癬治療剤「ルコナック®爪外用液5%」及び「ヘパリン類似物質外用泡状スプレー0.3%[PP]」により、前年同期を上回る売上高となりました。

ビルメンテナンス事業は、当社グループ会社を主な取引先とし、ビルの運営管理を行っております。当第3四半期連結累計期間は、人材獲得競争の激化の影響で、派遣要員の確保が進まなかったことにより、前年同期を下回る売上高となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は10,752百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は798百万円（前年同期は営業損失126百万円）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6,090百万円減少し、246,476百万円（前連結会計年度末比2.4%減）となりました。主な増減項目は、余剰資金の運用による投資有価証券の増加5,885百万円により増加し、一方で現金及び預金の減少12,124百万円により減少しております。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ9,912百万円減少し、43,809百万円（前連結会計年度末比18.5%減）となりました。主な増減項目は、短期借入金の減少1,600百万円、未払法人税等の減少1,176百万円、未払金等の減少に伴う流動負債「その他」の減少5,922百万円により減少しております。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3,821百万円増加し、202,667百万円（前連結会計年度末比1.9%増）となりました。主な増減項目は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上22,393百万円により増加し、一方で為替の影響による為替換算調整勘定の減少955百万円、剰余金の配当17,694百万円により減少しております。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2018年7月30日に発表しました業績予想に変更はありません。

### （参考情報）

#### 前期累計期間実績

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	百万円 56,074	百万円 117,378	百万円 177,846	百万円 244,335
営業利益	9,127	20,944	30,546	38,881
経常利益	8,955	20,944	30,791	39,250
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,777	13,955	21,014	27,137

#### 前期会計期間実績

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	百万円 56,074	百万円 61,304	百万円 60,468	百万円 66,489
営業利益	9,127	11,817	9,601	8,334
経常利益	8,955	11,988	9,846	8,459
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,777	8,177	7,058	6,123

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	76,962	64,837
受取手形及び売掛金	29,435	26,148
有価証券	23,899	19,500
商品及び製品	13,740	16,751
仕掛品	1,150	1,139
原材料及び貯蔵品	4,505	5,589
その他	12,106	15,061
貸倒引当金	△44	△41
流動資産合計	161,756	148,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,396	19,261
土地	13,069	14,693
その他（純額）	12,862	12,720
有形固定資産合計	45,329	46,675
無形固定資産		
のれん	883	776
商標権	9,026	8,377
その他	6,393	6,422
無形固定資産合計	16,303	15,576
投資その他の資産		
投資有価証券	21,943	27,828
その他	7,318	7,501
貸倒引当金	△83	△91
投資その他の資産合計	29,178	35,238
固定資産合計	90,810	97,490
資産合計	252,567	246,476

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,369	6,140
短期借入金	1,600	—
未払法人税等	4,223	3,046
賞与引当金	1,589	2,476
ポイント引当金	3,678	2,983
その他の引当金	221	135
その他	23,014	17,092
流動負債合計	40,696	31,875
固定負債		
その他の引当金	53	52
退職給付に係る負債	4,378	4,282
その他	8,592	7,599
固定負債合計	13,024	11,934
負債合計	53,721	43,809
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	90,240	90,240
利益剰余金	98,273	102,972
自己株式	△2,188	△2,188
株主資本合計	196,326	201,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	16
為替換算調整勘定	2,929	1,974
退職給付に係る調整累計額	△810	△737
その他の包括利益累計額合計	2,127	1,252
新株予約権	260	265
非支配株主持分	131	123
純資産合計	198,845	202,667
負債純資産合計	252,567	246,476



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)
売上高	177,846	184,807
売上原価	29,415	29,948
売上総利益	148,430	154,859
販売費及び一般管理費		
販売手数料	39,474	41,901
販売促進費	19,427	18,325
広告宣伝費	7,369	8,480
給料手当及び賞与	15,679	16,021
賞与引当金繰入額	2,208	2,241
ポイント引当金繰入額	2,933	2,732
その他	30,791	32,819
販売費及び一般管理費合計	117,883	122,523
営業利益	30,546	32,335
営業外収益		
受取利息	170	162
その他	161	220
営業外収益合計	332	383
営業外費用		
支払利息	52	45
為替差損	16	449
その他	19	34
営業外費用合計	88	529
経常利益	30,791	32,189
特別利益		
固定資産売却益	624	2
為替換算調整勘定取崩益	5	—
新株予約権戻入益	—	26
特別利益合計	629	28
特別損失		
固定資産売却損	23	6
固定資産除却損	198	176
事業整理損	449	103
訴訟関連損失	365	—
その他	8	38
特別損失合計	1,044	325
税金等調整前四半期純利益	30,376	31,892
法人税、住民税及び事業税	10,627	10,636
法人税等調整額	△1,281	△1,131
法人税等合計	9,345	9,504
四半期純利益	21,030	22,387
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	16	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,014	22,393

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	21,030	22,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	7
為替換算調整勘定	722	△957
退職給付に係る調整額	56	73
その他の包括利益合計	774	△876
四半期包括利益	21,804	21,511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,782	21,518
非支配株主に係る四半期包括利益	22	△7

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティ ケア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	165,268	2,020	167,288	10,557	177,846	—	177,846
セグメント間の内部 売上高又は振替高	54	385	439	1,949	2,389	△2,389	—
計	165,322	2,405	167,727	12,507	180,235	△2,389	177,846
セグメント利益又は 損失(△)	29,689	913	30,603	△126	30,476	70	30,546

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業及びビルメンテナンス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額70百万円には、セグメント間取引消去2,446百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,376百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティ ケア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	172,024	2,031	174,055	10,752	184,807	—	184,807
セグメント間の内部 売上高又は振替高	59	382	441	1,689	2,130	△2,130	—
計	172,083	2,413	174,496	12,441	186,938	△2,130	184,807
セグメント利益	31,113	833	31,946	798	32,744	△408	32,335

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業及びビルメンテナンス事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△408百万円には、セグメント間取引消去2,331百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,740百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。